



保健だより

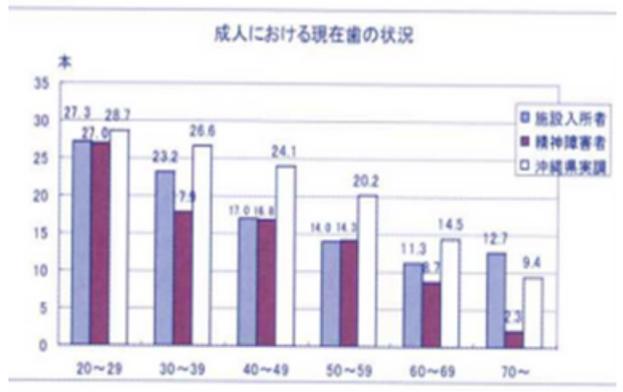
鶴岡
養護学校

今月のひとこと

知的障がいのある人の口腔状況について、現在歯が加齢とともに少なくなってしまうという事実を知っていますか？成人し、施設入居であったり、子の成長に伴って、親が高齢となり、口腔内の管理ができなくなると、現在歯が少なくなってしまう状況にあります。

また、食嗜好が著しく偏ったり、子どもの抵抗により、口腔清掃が難しく清潔を保つのが難しいことが要因として挙げられます。

事業所、学校など支援が充実している在学中の今、子どもたち自身が歯磨きができる習慣を身に着けることがいかに大切かお分かりいただけたかと思います。



参考：沖縄県福祉保健部健康推進課

6がつの取り組み

高等部の生徒へ、歯磨き指導をしました。歯科検診の結果、高等部では、「歯垢」にチェックがついた生徒が多くおり、染だしをしました(^^)/

歯の模型を使い、歯ブラシの縦磨き、横磨きを覚えさせました。歯と歯の間のすきま汚れは、縦磨きでないと落ちないことを模型で体験しました。

みんなの学び



磨き残しがどこにあるか色を塗りました。



縦磨きをすると、歯の間の汚れが落ちました！

歯磨きのビフォーアフター



※ 保護者の皆様へ

ご家庭での歯磨きの様子や工夫していることなどありましたら、連絡帳等でお知らせいただいたらうれしく思います。よろしくお願いいたします。

